

作成日 2012年 2月 6日
 改定日 2012年11月 2日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : キッチンパワーブリーチ
 会社名 : ライオンハイジーン株式会社
 住所 : 東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル6階
 担当部所 : 企画開発部 開発研究所
 電話番号 : 03-3616-3159
 FAX番号 : 03-3616-3208
 緊急連絡先 : 03-3616-3159
 製品の用途 : 厨房用漂白剤
 整理番号 : 2069

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 重篤な目の損傷
 [GHS分類]

物理化学的危険性

火薬類 : 区分外
 可燃性 / 引火性ガス : 分類対象外
 可燃性 / 引火性エアゾール : 分類対象外
 支燃性 / 酸化性ガス : 分類対象外
 高压ガス : 分類対象外
 引火性液体 : 分類対象外
 可燃性固体 : 区分外
 自己反応性化学品 : 分類できない
 自然発火性液体 : 分類対象外
 自然発火性固体 : 区分外
 自己発熱性化学品 : 区分外
 水反応可燃性化学品 : 区分外
 酸化性液体 : 分類対象外
 酸化性固体 : 区分外
 有機過酸化物 : 分類対象外
 金属腐食性物質 : 区分1

人健康有害性

急性毒性 経口 : 区分4
 経皮 : 区分外
 吸引 (ガス) : 分類対象外
 (蒸気) : 区分外
 (粉塵、ミスト) : 区分外
 皮膚腐食性 / 刺激性 : 区分1
 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 区分1
 呼吸器感作性 : 区分外
 皮膚感作性 : 区分外
 生殖細胞変異原性 : 区分外
 発がん性 : 区分外
 生殖毒性 : 区分外
 特定標的臓器 / 全身毒性 (単回暴露) : 区分外
 特定標的臓器 / 全身毒性 (反復暴露) : 区分外
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
 その他の有害性 :

環境有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分2
 水生環境有害性 (慢性) : 区分外

【GHSラベル要素】

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ

飲み込むと有害(経口)

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

水生生物に毒性

注意書き

予防策

保護手袋および保護眼鏡/保護面を着用すること。

他の容器に移し替えないこと。

粉塵/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

眼、皮膚、衣類に付けないこと。

取扱い後はよく洗うこと。

応急措置

眼に入った場合、こすらず、直ちに流水で15分以上洗い流すこと。そのまま放置すると失明の恐れがある。痛みや異常がなくても直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付いた場合、直ちに多量の水で洗い流すこと。必要に応じて医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合、無理に吐かせずに、すぐに口をすすぎ、多量の水または牛乳や生卵を飲ませること。意識のない場合は口から何も与えないこと。速やかに医師の診断を受けること。

保管

容器に記載されている応急処置法を見て、対応すること。

廃棄

直射日光を避け高温の場所に置かないこと。

内容物/容器を許可を受けた産業廃棄物業者に委託し、関連法規等を順守し廃棄すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質/混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (w%)	官報公示整理番号(化審法)
次亜塩素酸ナトリウム	7681-52-9	6%	1-237

4. 応急措置

吸入した場合

: 塩素ガスを吸入した場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、身体を楽にして休息させる。

皮膚に付着した場合

: 直ちに多量の水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

: 流水で15分以上洗眼し、医師の手当てを受ける。この場合清浄な微温湯が容易に得られる時は疼痛を軽減する点で冷水洗浄よりも効果がある。

飲み込んだ場合

: 直ちに口の中を水で洗浄し、多量の水又は牛乳や生卵を飲ませる。意識のない場合は口から何も与えない。無理に吐かせず速やかに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法

: 火元への燃焼源を断ち、容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は容器に注水して冷却する。

消火剤

: 大量の水による。

使ってはならない消化剤

: 酸との接触により有害な塩素ガスを発生するので、炭酸ガス、酸性の粉末消火剤は避ける。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 人体や衣服を損傷するので、水洗いにより早急に除去する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
- 除去方法 : 漏出源を遮断し、漏れをとめる。
- : 多量に漏れた場合は、保護具を着用し、空容器に移した後、還元分解(例:亜硫酸ナトリウム、チオ硫酸ナトリウム溶液)等の措置を講じるか、大量の水で洗い流す。流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。喚気、拡散等を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 吸い込んだり、眼、皮膚及び着衣に触れないように、適切な保護具を着用し、換気の良い場所で取り扱う。
- : 作業中に温度が上昇したり、pHが低下したり、重金属類の混入した場合、酸素または塩素を放出するので注意する必要がある。
- : 誤って酸と混合した場合は、直ちに苛性ソーダ、消石灰等のアルカリで中和する。
- : 発生した塩素ガスが周辺に拡散する恐れがある場合は関係者に連絡を取ると共に、風上に避難、誘導等の措置を講じる。
- 保管 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。特に紫外線により分解が促進される。
- : 重金属(コバルト、ニッケル、クロム、銅、鉄など)が存在するとそれらが触媒となり、分解を促進するので貯蔵する容器内にこれらが混入しないようにする。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 屋内作業所での使用時は、局所排気装置を設置する。
- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度(日本産業衛生学会) : 設定されていない。
- (ACGIH)
- 保護具 : 状況に応じて保護眼鏡、ハロゲンガス用防毒マスク、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 淡黄色透明液体
- 臭い : 特有の刺激臭がある。
- pH : 12.80以上
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 燃焼性 : データなし
- 燃焼又は爆発範囲 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 蒸気密度 : データなし
- 蒸発速度 : データなし
- 比重 : 1.069(20)
- 溶解性 : 水に易溶
- オクタノール/水分配係数 : データなし
- 分解温度 : データなし
- その他のデータ : データなし

10. 安定性及び反応性

引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	: なし
発火性	: なし
酸化性	: あり
自己反応性・爆発性	: 通常取り扱いでは安定
粉塵爆発性	: 通常取り扱いでは安定
安定性・反応性	: 高温で長時間加熱すると、分解する。 熱、光、重金属、酸などに極めて不安定で、急速な分解反応により有効塩素を失う。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 雄; LD50: 6.8ml/kg (次亜塩素酸ナトリウム10%) : 雌; LD50: 5.8ml/kg (次亜塩素酸ナトリウム10%) : 幼児経口致死; 15~30ml (次亜塩素酸ナトリウム5%)
亜急性毒性	: F 344ラット(7週間)に飲料水として2週間投与で、0.2%以上、13週間投与では0.2%以上で、著しい体重増加抑制が見られた。(次亜塩素酸ナトリウム)

12. 環境影響情報

分解性	: 水中で徐々に分解する(次亜塩素酸ナトリウム)
魚毒性	: アメリカヤナギバエ 96時間 LD50 = 59mg/L (次亜塩素酸ナトリウム) : 小エビ 96時間 LD50 = 52mg/L (次亜塩素酸ナトリウム)

13. 廃棄上の注意

:	容器は使用後、漏れや変質を防ぐため、容器の変形、内部ライニング、塗装の亀裂、剥離、残留物の有無を確認し、水洗い、水切りしておく。
:	廃液は、そのまま廃棄すると土地、河川を汚染し、農作物、魚介類に影響を及ぼす可能性があるため、そのまま廃棄しない。
:	酸を使用して分解すると塩素ガスを発生し、大気汚染防止上好ましくないため、完全な塩素ガス吸入装置のついた密閉容器中で分解後、廃棄する。

14. 輸送上の注意

:	腐食性が強いので運搬容器及び移液設備(配管、バルブ、ポンプなど)は耐食性のあるものを使用する。
:	分解しやすいので、遠距離輸送は避けた方が良い。また、直射日光下の輸送は温度上昇により分解が促進されるため避ける。
:	酸と接触すると分解して塩素ガスを放出するので、混載は避ける。
:	専用容器を他の物質と共用しない。
:	小型容器で輸送する場合、栓のあるほうを上にして積載する。

国際規則

国連分類	: クラス8(腐食性物質)
国連番号	: 1760
品名(国連輸送名)	: 次亜塩素酸ナトリウム
海洋汚染物質	: 有害液体物質 C類物質 施行令別表第1

国内規則

陸上輸送	: 消防法、毒劇物取締り法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。
海上輸送	: 船舶法に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている輸送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法	:	非危険物
労働安全衛生法	:	該当しない
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	:	該当しない
船舶安全法	:	危告示 腐食性物質
航空法	:	腐食性物質 施行規則第194条 告示別表第11

16. その他の情報

参考文献	:	製品安全データシートの作成指針
	:	日本化学会編「化学防災指針」丸善(1980)
	:	日本ソーダ工業会編「安全衛生手帳」(1992)
	:	界面活性剤の安全及び分解に関するデータシート集題2集 界面工
	:	品用洗浄剤の安全性に関する調査研究(日本食品洗浄剤衛生協会)
	:	NITE 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS関連情報

記載内容の取扱い : この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。